

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

(首長・管理者向けトップセミナー関係)

○登録者情報

遠藤 尚秀 (えんどう なおひで)

所在地 兵庫県

組織名・所属 役職

大阪公立大学大学院 都市経営研究科 教授
博士 (先端マネジメント)



略歴

[実務]

平成 元年 監査法人トーマツ (現 (有) 監査法人トーマツ) 入社 (平成 9 年退社)
平成 9 年 センチュリー監査法人 (現新日本有限責任監査法人) 入社
平成 19 年 パートナー就任 (平成 28 年 3 月退社)

[アカデミック]

平成 21 年度 関西学院大学大学院 経営戦略研究科 非常勤講師に着任 (現在に至る)
担当科目: 管理会計・内部統制・自治体原価計算論・地方自治体財務分析、公共経営論
平成 21 年度 甲南大学大学院 社会科学研究科 非常勤講師に着任 (平成 25 年 3 月まで)
担当科目: 財務諸表論
平成 23 年度 兵庫県立大学大学院 会計研究科 非常勤講師に着任 (平成 27 年 3 月まで)
担当科目: 公会計特論・公営企業会計論
平成 27 年度 早稲田大学大学院 会計研究科 非常勤講師に着任 (平成 29 年 3 月まで)
担当科目: 公共ガバナンス
平成 28 年度 福知山公立大学 地域経営学部地域経営学科 教授に着任、2 年間学科長
(平成 30 年 3 月退職)
担当科目: 管理会計・原価計算論・工業簿記・経営分析
平成 30 年度 大阪市立大学大学院 都市経営研究科 教授に着任、令和 3 年度研究科長
担当科目: 都市経営論・自治体会計・特殊講義・ゼミ
(大阪市立大学と大阪府立大学の統合により大阪公立大学へ: 令和 4 年度)

令和 4 年度 大阪公立大学大学院 都市経営研究科 教授に着任(令和 4 年度研究科長)

現在に至る

担当科目：都市経営論・自治体会計

○主な取組内容・実績

1. 日本公認会計士協会役員としての実績

- ・平成 19 年度～平成 22 年度 日本公認会計士協会本部 理事に就任(近畿会副会長、兼務)
- ・平成 22 年度～平成 28 年度 日本公認会計士協会本部 常務理事(公会計・公監査担当)
に就任。公会計委員会を所管し、下記の国の各種委員等に就任
(令和 4 年秋 黄綬褒章(公認会計士功労)の受章)

2. 国の各種委員としての実績

<独立行政法人の評価・会計基準の検討>

- ・平成 22 年度～平成 27 年度 財務省 独立行政法人評価委員会造幣局分科会委員に就任
- ・平成 24 年度～平成 27 年度 財務省/総務省共同ワーキング 独立行政法人会計基準研究会委員に就任
- ・平成 25 年度～平成 27 年度 財務省 独立行政法人評価委員会印刷局分科会委員に就任
- ・平成 27 年度～令和 6 年度 財務省 造幣局及び国立印刷局の業務実績評価に関する有識者会合構成員に就任

<自治体内部統制・監査制度の検討>

- ・平成 24 年度～平成 25 年度 総務省 地方公共団体の監査制度に関する研究会委員に就任

<地方公会計基準の策定・利活用の検討>

- ・平成 25 年度～平成 26 年度 総務省 地方公共団体における財務書類の作成基準に関する作業部会委員に就任
- ・平成 26 年度 総務省 今後の新地方公会計の推進に関する実務研究会委員に就任
- ・令和 5 年度～令和 6 年度 総務省今後の地方公会計のあり方に関する研究会委員に就任

3. 自治体の各種委員、研修講師、コンサル、外部監査としての実績

<自治体ガバナンス：監査・内部統制の視点からのチェック>

- ・平成 23 年度～平成 25 年度 滋賀県 包括外部監査人に就任
テーマ：インフラ資産・庁舎等の建設・維持管理/商工観光労働部所管の事務事業/
特別会計・地方公営企業・地方公社の財務事務執行等
- ・平成 23 年度 瀬戸内市 個別外部監査人に就任
テーマ：公共施設の現状について
- ・平成 26 年度～平成 28 年度 東大阪市 包括外部監査人に就任

テーマ：委託料に係る事務執行/高齢者保健福祉事業に係る財務事務/行政財産の
使用許可と普通財産の貸付

- ・平成 28 年度～現在に至る 総務省自治大学校 非常勤講師
担当科目：内部統制・公監査
 - ・平成 29 年度以降 3 年間 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー：JUMP）講師として、代表監査委員に自治体監査の理論と実践について講義を行い、その後、グループディスカッションを実施し、各班から結果を発表し、引続き全員で討議を実施
 - ・平成 29 年度 財務省会計センターでの職員研修の講師として、各府省等の内部監査（会計監査）業務を担う公務員に、国・自治体における最近の内部統制を取り巻く状況や内部監査が果たすべき役割等について、公共ガバナンス改革の視点から講義
 - ・平成 30 年度 第 65 回近畿・北陸・東海三地区共催都市監査事務局研修会で、「内部統制制度と監査委員監査」のテーマで講演を実施
 - ・令和 2 年度～現在に至る 西宮市 事務執行適正審議会 会長に就任。内部統制の構築その他の適正な事務執行等に関する審議、助言の実施
 - ・令和 5 年度 「全国都市監査委員会」の研修会で「監査委員監査の更なる充実強化に向けて」をテーマに基調講演（秋田県にて）
- <地方公会計>
- ・平成 14 年度 大飯町から「バランスシートと行政コスト計算書（2 期）の作成と分析」を受託し作成手続きと財務分析結果を報告
 - ・平成 19 年度 （社団）日本経営者協会の行政管理講座にて、東京都モデルと新地方公会計制度研究会報告書をもとに、財務書類の分析と活用を説明
 - ・平成 21 年度以降 複数の大学院にて、予算・決算情報、決算統計情報と地方公会計情報の利活用の視点から、具体的な事例を紹介しつつ、分析・測定・評価のポイントについて講義を実施
 - ・平成 28 年度 （新人）地方議員向けに、「決算カード」や決算資料・新地方公会計情報の分析等を研修した。（福知山公立大学にて）
 - ・令和元年度以降毎年 1 回 全国市町村国際文化研修所（JIAM）講師として、主に公共ガバナンスと地方公会計の関連を講義
- <行政評価>
- ・平成 17 年度～平成 19 年度 山形市 行政評価システム外部検証委員会委員に就任
 - ・平成 24 年度～平成 26 年度 尼崎市 事務事業点検委員会委員長に就任
- <外郭団体>
- ・平成 18 年度 西宮市からの委託で「外郭団体の経営評価と今後の在り方

の検討」について調査を実施し、報告書を提出

<指定管理者の評価・選定>

- ・平成 16 年度～平成 26 年度 芦屋市 指定管理者選定委員会委員に就任
- ・平成 27 年度～平成 28 年度 福知山市 指定管理者選定委員会委員に就任
- ・平成 29 年度～現在に至る 宮津市 指定管理者選定委員会委員長に就任

<公共施設等マネジメント：公共施設等総合管理計画・個別施設計画の策定・進行管理>

- ・令和元年度～令和 4 年度 洲本市 公共施設等再編整備検討委員会委員長に就任
- ・令和 3 年度～現在に至る 長浜市 公共施設マネジメント推進委員会委員長に就任

<行政経営>

- ・平成 30 年度～令和 7 年度 福知山市 まち・ひと・しごと・あんしん創生有識者会議委員に就任
- ・令和 3 年度～令和 4 年度 長浜市 地域経営改革会議副委員長に就任。行政改革大綱の策定、実施計画の進行管理、その他地域経営の改革を推進
- ・令和 5 年度～現在に至る 大阪市 大規模事業リスク管理委員会委員として、大規模な投資的経費における財務リスクをタイムリーに認識し、所管部署のリスク管理を側面から助言する統括的なリスク管理に参画
- ・令和 6 年度～現在に至る 富田林市 行財政改革プラン策定アドバイザーに就任。第 5 期行財政改革プラン策定のアドバイスを実施
- ・令和 6 年度～現在に至る 大阪市 行政区域を超えた効率的な業務執行体制のあり方検討に関するアドバイザーとして、区役所をグルーピングすることのメリット、デメリット、留意事項などを検討
- ・令和 6 年度～現在に至る 滋賀県 滋賀県行政経営改革委員会委員長に就任。行政経営方針の取組状況の確認、公共施設等マネジメント基本方針の策定、人材育成方針改定の方針やワーク・ライフ・バランス取組状況の検討など、行政の効率化・県民サービスの向上を主な目的とした審議を実施

○その他

<資格>

- ・公認会計士 ・英国勅許公共財務会計士

<著書・作成教材>

- ・(単著)『パブリック・ガバナンスの視点による地方公会計制度改革』(平成 24 年度国際公会計学会 書籍部門学会賞受賞)、平成 24 年 9 月、中央経済社
- ・(教材)「地方創生カレッジ事業」e ラーニング教材として、「地方創生のための財務諸表入門」と「同管理会計入門」のうち、6 ユニットのコンテンツ提供、平成 29 年 2 月、

(gacco 提供)

- ・(共編著)『公立図書館と都市経営の現在 -地域社会の絆・醸成へのチャレンジ』令和2年3月、日本評論社
 - ・(共著)『地方公共団体の公会計制度改革』令和3年3月、税務経理協会
 - ・(共著)『地方自治体の監査基準に関する分析と検証』令和4年7月、同文館出版
 - ・(単編著)『自治体財務管理体制と公会計情報 -アフターコロナ時代の財務レジリエンス向上に向けて-』令和7年3月、大阪公立大学出版会。
- (科学研究費助成事業：基盤研究(C)19K01988の研究代表者としての研究成果の一部)